



ラボ番号:
患者名:
ID:
性別: Male
年齢:

クライアント : 30131
医師名:
Detox Co., Ltd.
2-6-6 Numabukuro Nakano-Ku
Tokyo, 165-0025 JAPAN

Toxic Metals; Urine 尿経路排泄重金属検査

有害重金属

		数値 μg/g クレアチニン	標準 範囲	基準値内 高い	
アルミニウム (Al)	5	< 60			
アンチモン (Sb)	0.2	< 0.5			
ヒ素 (As)	200	< 117			
バリウム (Ba)	< dl	< 7			
ベリウム (Be)	< dl	< 1			
ビスマス (Bi)	16	< 20			
カドミウム (Cd)	3.2	< 0.5			
セシウム (Cs)	9.7	< 12			
ガドリニウム (Gd)	< dl	< 0.4			
鉛 (Pb)	17	< 5			
水銀 (Hg)	11	< 5			
ニッケル (Ni)	2	< 15			
パラジウム (Pd)	< dl	< 0.3			
プラチナ (Pt)	< dl	< 1			
テルル (Te)	< dl	< 0.8			
タリウム (Tl)	1.2	< 0.8			
トリウム (Th)	< dl	< 0.05			
錫 (Sn)	4.1	< 15			
タンタム (W)	4.4	< 0.6			
ウラン (U)	< dl	< 0.04			

クレアチニン

	数値 mg/dL	標準 範囲	-2SD	-1SD	MEAN	+1SD	+2SD
クレアチニン	176	25- 180					

検体データ

コメント:

検体採取日: レシートに pH: Acceptable 採取期間: timed: 6 hours
 検体受託日: <dl: less than detection limit 量:
 検査完了日: 誘発物 DMSA 誘発物: POST PROVOCATIVE
 方法: ICP-MS クレアチニン by Jaffe Method

測定結果は、尿の希釈による変動に対処する為に、クレアチニン濃度で値を修正されています。基準範囲とそれに対応するグラフ、非負荷試験下の健常者の集団の値を表しています。キレーション(負荷)物質によつて金属/元素の尿中排泄が増加することもあります。